

本当のさびしさとは？

12月8日 全校朝会の校長講話より



12月1日に開催した人権学習会(前期)の私の話では、人種差別を始め、世の中には「男女差別」「経済的な差別」子どもたちの中にありがちな「体格による差別」「成績や運動能力による差別」「ちょっと他人とはかわったところによる差別」などがあることを取り上げ、そんな差別を見つける目を養おうという話をしました。

それを受けての8日の全校朝会。

11月、学校の校門横の掲示板に「二十四節季」の話が書いてあったのを紹介し、日本は四季がはっきりしていて、四つの季節をさらに二十四の季節に分けた、二十四節季があることを話しました。冬という季節を見ただけでも、「立冬」「小雪」「大雪」「冬至」「小寒」「大寒」というように分けられています。古来より日本人は自然や季節の中から雅を見つけ、楽しむことを知っていた民族だということです。ここで、冬をテーマとした百人一首を紹介。

山里は 冬ぞさびしさ まさりける 人目も草も かれぬと思へば
源宗行朝臣



冬の山里の寂しさを詠った一首ですが、これでもその自然を雅に感じ、山里の寂しさや静けささえも楽しんだ和歌だとも言えます。

これから先は、私の高校時代に国語の先生がおっしゃっていたこと。子どもたちにも上の和歌の意味を伝えた上で、

「私の高校時代の国語の先生は、『日本人は、自然の中で一人でもその美しさや穏やかさを楽しんで、寂しさを紛らわせる、そんな心を持った民族だ。』とおっしゃっていました。そうすると、私たちが本当に寂しさ、ひとりぼっちとを感じるのはどんなときなのでしょう？」と問いかけると、さすが小値賀っ子、

「仲間外しにあったとき。」

とう声がちらほら。そう、人は自然の中のひとりぼっちには慣れることもできるのですが、人の中のひとりぼっちには耐えられない孤独感を味わうのです。



「例えば、全く見ず知らずの集団に投げ込まれたら、誰も知らない、話し相手もない、ご飯を食べるときも他のみんなは楽しそうに食べているのに自分はひとりぼっち、そんな寂しさには耐えられないよね。」と言うと子どもたちも「ふむふむ」。

さらには、「この中にはこの学校に転校してきた人もいます。どうだった？全く知らないみんなの中

に入ってくるのって？〇〇君や〇〇君、やっぱり心細かったり、寂しかったりしたよね？」と今年転校してきた子に聞くと「はい」という返事。

「大勢の中の独りほど寂しいものはありません。みなさんの周りに寂しい思いをしている人がいないか？人の寂しさに気づいてあげられる人間になりましょう。」という話でした。「差別を見つける目」「人の寂しさに気づいてあげられる目」「他人の悲しみに寄り添う心」そんな優しさの持ち主であってほしいと思います。

政治ってなあに？税金は必要なの？

6年生は社会科で政治のことを学習します。小学生に「政治ってなんなの？」と聞いても、ぴんとこないはずです。そういえば最近「日本にプーチン大統領が来ていたか…。」という程度かと思えます。その学習の一環として、小値賀町議会を毎年見学させていただいています。厳粛な議会議場で議員さんが質問し、町長さんが応答する様子を生で見られるのです。言葉が難しく十分に理解はできなかったと思うのですが、雰囲気としては感じることはできたはず。(12月13日)

そして、昨日(12月20日)、役場・住民課の博多屋さんとお招きし、租税教室を開催しました。「どうして税金が必要なのか。」「税金はどういうことに使われているのか。」をビデオで見た後、小値賀町のフェリーターミナルやこの学校はどのくらいの税金が費やされているのかを具体的に教えていただきました。もちろん「億」のお金ですので、最後に登場するのは「一億円」です。仰々しくジュラルミンケースから出てくる「一億円」。もちろんレプリカですが、実物と重さや大きさは同じだとか。税金とその使い道を決める議会とが何となくつながったようでした。町議会のみなさん、住民課のお二人方、ご協力ありがとうございました。



表彰 読書感想文・画 暗唱 多読賞

2 学期終了を前に、秋に取り組んだ読書感想文・画の表彰、年間を通じて取り組んでいる暗唱の表彰、9月からこれまでの読書(多読賞)の表彰を行いました。



読書感想文 郡入選	1年 田中 優衣子
読書感想画 郡入選	2年 吉村 優羽 2年 宮崎 信之

暗唱の部

暗唱テキスト10 段合格

1年 角永 太晟
2年 千葉 慎太郎 中野 友稀 新田 結月 森岡 聖蓮 高橋 徳臣 小崎 琴音 田川 日夏乃
3年 松本 我道
4年 松原 和紀 遠山 琉伊 田中 優花子
5年 濱田 朔羅

スペシャル名人合格

1年 田中 愛心海
2年 宮崎 真之 田川 日夏乃 高橋 徳臣 橋本 結衣
3年 田中 海音 角永 佑太
4年 川口 優紀 松田 すぐり

都道府県名人合格

2年 橋本 結衣 畑村 芽生 田中 瑠海
3年 田中 海音

読書の部(多読賞)

1年
1位 田中 優衣子(74冊) 2位 土田 怜生(63冊) 3位 神崎 茉実(51冊)
2年
1位 小崎 琴音(60冊) 2位 中野 友稀(57冊) 3位 田中 瑠海(54冊)
3年
1位 木村 大和(65冊) 2位 川口 さくら(62冊)

3年	3位 小辻 太一郎(59冊) 辻 彩弥斗(59冊)
4年	1位 川口 優紀(59冊) 2位 田中 優花子(46冊) 3位 松田 すぐり(44冊)
5年	1位 渡部 愛加(97冊) 2位 濱田 朔羅(23冊) 3位 岩坪 果恋(22冊) 佐野 美海(22冊)
6年	1位 中川 萼花(50冊) 2位 川口 真歩(38冊) 3位 大久保 綾美(35冊)

これだけの子どもたちが表彰できるのはうれしいものです。多読賞で考えると、低学年は絵本等が多いのですが、5年生・渡部愛加さんの97冊は絵本ではない一般の図書です。この数はすごい！学校一の愛読家というのは疑うところがありません。

さて、この渡部さんに最近おすすめの本を聞いてみました。それがこの2冊。



星 新一
ねらわれた星
(ショート
ショート
セレクション)

エミリー・
ロッダ
ロンド国物語

私もすすめられた星新一さんの「ねらわれた星」を読んでみました。星新一さんらしいちょっと大人のブラックユーモアです。このユーモアがわかるなんてすごい！

回覧



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年12月22日 第23号

校長 酒井元治

冬休み、クリスマス、お正月

早いもので2学期も終わり。いよいよ冬休み突入です。2学期の間も大過なく過ごせたことをみなさまとともに喜び、これまでのご協力に感謝申し上げたいと思います。

さて、今日は終業式、子どもたちといっしょにこの2学期を振り返ってみました。まずは、楽しい学校だったか？そして、2学期の始めに私は「人前で堂々と自分を表現できる人になってほしい。」という話をしましたが、それがどうだったのか？それぞれの学年では次のようなことがあった2学期です。

6年

何と言っても修学旅行
見ず知らずの方に道を聞いたり、自分たちで地図や道路標示を見たりして班別研修を行いました。



(長崎歴史文化博物館にて)

5年

これも何と言っても宿泊学習
教師の手をほぼ借りることなく、野外炊飯の準備や後片付けまででき、全員で力を合わせて思いっきり楽しむことができたのはすばらしい。

4年

4年は自分たちが司会・進行を務めた前期遠足と前期人権学習会でしょう。何度も練習して、自信を付けしっかりと下学年をリードしました。

3年

社会科見学や栽培活動(収穫)
町内のお店に行ってインタビュー。恥ずかしがらずに聞くことができました。

2年

1年生を招いての「おもちゃまつり」やロードレース
自分たちで計画して1年生を楽しませることができました。ロードレースも沿道の声援に背中を押され、しっかりがんばりました。

1年

6年生といっしょに育てたサツマイモを焼き芋にしました。芋が焼き上がるまでの待ち時間、グループでの出し物発表。6年生のリードもあってがんばりました。

(芋の焼き上がりを待っています)



こうやって振り返ると、それぞれに人前で堂々と自分を表現する訓練ができた2学期です。

「どうどうリクエスト」もエントリーが増え、賑やかになってきました。

こんな話をした後は、まもなくやってくるお正月について話しました。保護者のみなさま、地域のみなさまはご存じかと思いますが、日本の伝統を伝えることも大切な教育だと思い子どもたちに話しました。

だいたい「お正月」って何？

年が新しくなった1月1日に年神さまが各家庭を回って、人々に健康や福を授けるという習わしから一連の行事や風習が伝えられています。



その行事や風習の意味を一部紹介

大掃除

神さまを気持ちよく迎えるための準備です。

門松

神さまの入り口。松は「神さまが宿る木」と言われてきました。と言うことは、姫松には何人の神さまがいる？(^o^)

お年玉

神さまが新年の力(年魂)をこめた、お餅を分けいただいたもの。もともとはお金じゃありません。



さあ、こんな意味が込められた日本のお正月です。家族の一員としてしっかり仕事をする事で日本の伝統を引き継ぎたいものです。

終業式には各学年代表による学期の反省の発表があるのですが、その中から今回は3年と4年代表の作文を紹介します。

2学期ががんばったこと 3年 川口 さくら

わたしが2学期でがんばったことは4つあります。

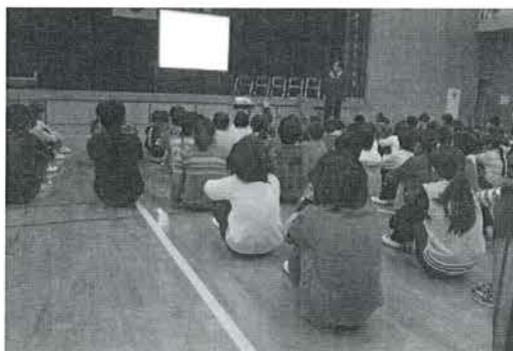
まず、学習面では音楽の合奏です。太一郎さん、秀一さん、はるかさんと同じチームで演奏しました。私のたんとうは木きんでした。おかしな好きなまほうつかいの歌に合わせて、まほうがせいこうした音としっばいした音を工夫して出しました。みんなとてもよくがんばったのでいい気持ちになりました。

運動面でがんばったのは走り高とびです。最初はうまくできななかったけど、何度も練習するうちに70センチメートルとべるようになりました。高くとべるととてもうれしかったです。

また、生活面では、テレビやゲームの時間をへらすように心がけました。これからは、家の手伝いをもっとしっかりしたいです。

それから、学校では係の仕事をがんばりました。私は配り係の仕事をしています。そうじが終わったら、ゆいなさんといっしょに配るものがないか、たしかめに行きました。仕事に進んで取り組むことができ、いい2学期になりました。

冬休みは、健康に気をつけて、きもちよく3学期がむかえられるようにします。



2学期ががんばったこと 4年 大久保 直季

2学期楽しかったことは、クラブ活動です。楽しかったところは、同じクラブのみんなといろいろな活動ができたことです。絵をかいたりはがきを書いたり、楽しいことがいっぱいでした。4年生から6年生までが交流できてよかったです。

2学期ががんばったことは、前期遠足や人けん学習会です。前期遠足ではウォークラリーを担当しました。本番までにたくさんの練習をしました。本番で成功させるために、何度もやりなおしました。全員の役割がぶじに終わり、ごはんを食べ終わったあと、遊びながら「遠足にまた来たいなあ。」と思いました。

前期人けん学習会も準備や練習がたいへんでした。でも、自分や友だちの大切さが学べました。1年から3年生も同じだったらいいなあ、と思います。

ぼくはあと3ヶ月で5年生になります。これからも、自分の役目をがんばれる5年生になりたいです。

赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました

11月21日～25日にご協力いただいた「赤い羽根共同募金」は全部で

6,777円

集まり、先日社会福祉協議会にお渡しいたしました。ご協力いただき誠にありがとうございました。(ううん、あと千円私が入れていればぞろ目だった。あとで気づいた。)



校長からのお年玉

**冬休みが明けたら、国語と算数の校長検定を全学年実施します。
私からのお年玉(^_^)/~~~~ 100点目指してがんばろう!**